

# 食品中の残留農薬の一斉分析

日本環境は高度な技術とノウハウを駆使し、企業の環境パートナーを目指しています。



*厚生労働省登録検査機関として  
高精度な残留農薬分析をご提供致します。  
是非、当社のサービスをご利用下さい。*

## ●日本環境の残留農薬分析

平成18年5月29日のポジティブリスト制度施行に伴い、食品製造業・食品流通業・食品専門商社様等では、食の安全を証明する手段として「残留農薬の自主検査」を開始しております。

このような社会的ニーズにこたえるべく、弊社では技術の研鑽に努め、2008年3月24日付けで残留農薬及びアフラトキシンについて『厚生労働省登録検査機関』の認可を受けるに至りました。

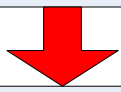
輸入食品の命令検査から企業様の一般検査まで、ポジティブリスト制度への対応を検討されている方に最適な残留農薬分析をご提供致します。

## ●分析方法:

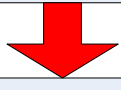
- ・多成分一斉分析:厚生労働省通知法に準じた、GC/MS および LC/MS、LC/MS/MS を用いて分析を行います。
- ・個別分析:ご相談に応じますのでお問い合わせ下さい。

## ●残留農薬一斉分析の簡単なフロー

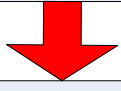
到着した試料をミキサー等で粉砕、そのうち20gを量り取る。



分液操作を行い、試料から農薬を抽出する



不純物除去



抽出液をGC/MS,LC/MS/MSを用いて測定



ガスクロマトグラフ質量分析装置(GC/MS)



高速液体クロマトグラフ質量分析装置(LC/MS/MS)

● 一斉分析パッケージについて

弊社では、残留農薬分析は『分析項目数ではなく分析ターゲットとのマッチ度』が重要であるという認識で、以下の一斉分析パッケージをご提供しております。さらに、検査目的に応じた一斉分析パッケージもご用意させて頂いております。各分析パッケージの料金及び納期についてはお問合せ下さい。

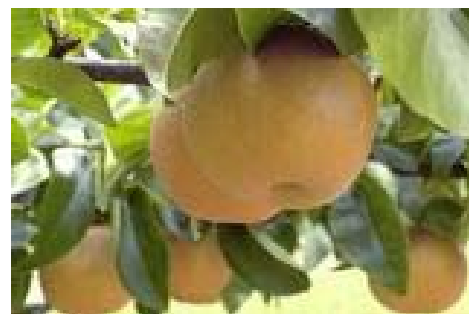
- ① 42 項目一斉分析：国内・国外の過去の違反事例で構成した一斉分析
- ② 179 項目一斉分析：使用頻度の高い農薬で構成した一斉分析
- ③ 290 項目一斉分析：より幅広い項目をカバーした、納期・費用の面で最適な一斉分析
- ④ 320 項目一斉分析：国内産及び外国産の農薬使用履歴不明な作物に対して効果的な一斉分析

【用途別パッケージ】

- ① 防カビ剤一斉分析 4 項目
- ② 有機リン系一斉分析 57 項目

● 残留農薬分析・カビ毒分析の実績

- ◆ 冷凍フライなどの多成分一斉分析
- ◆ 塩蔵野菜の多成分一斉分析
- ◆ キャベツの多成分一斉分析
- ◆ 玄米の多成分一斉分析
- ◆ 茄子のカプタホル・シヘキサチン・ダイアジノン分析
- ◆ 大棗(オオナツメ)のパラチオン分析
- ◆ 乾燥ホウレン草のクロルピリホス分析



etc...

日本環境は以下の項目の調査・分析についても最先端の技術を提供いたします。

- ・カビ毒分析（アフラトキシン B1、B2、G1、G2）
- ・特定原材料検査（アレルギー検査）
- ・DNA 解析による食品の品種判別分析



● 残留農薬一斉分析の  
お問い合わせ先:



日本環境株式会社

環境計量証明事業所  
[www.n-kankyo.com](http://www.n-kankyo.com)

● 神奈川事業所	〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 3-12-31	TEL.045-501-8271	FAX.045-502-0437
東京事業所	〒134-0091 東京都江戸川区船堀 5-11-19	TEL.03-5676-8711	FAX.03-5676-8710
横浜事業所	〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦 2-1-13	TEL.045-780-3851	FAX.045-780-3847
千葉支店	〒272-0014 千葉県市川市田尻 3-4-1	TEL.047-370-2561	FAX.047-370-3050
埼玉支店	〒336-0964 埼玉県さいたま市緑区東大門 2-2-14	TEL.048-812-6222	FAX.048-878-7563
大阪事業所	〒533-0013 大阪府大阪市東淀川区豊里 1-7-23	TEL.06-6990-7571	FAX.06-6990-7572